

---

# アニメ・ゲームのキャラで野球大会

ぱっつあん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アニメ・ゲームのキャラで野球大会

### 【Nコード】

N5858Y

### 【作者名】

ばつつあん

### 【あらすじ】

これは、俺が好きなアニメ・ゲームのキャラが野球をする小説です。初めて書く小説なのであまり期待はしないでください。後、ニコ動ネタやカップリングやホモやレスに嫌悪感がある人は、注意して下さい。

更新情報は主にTwitterでやります。感想を募集中です！  
待っています！

## ルール説明（前書き）

本編の前にルール説明です。

## ルール説明

### ルール説明

16チームが参加

16チームが4分割されたリーグ戦を行う

上位2チームが上位トーナメント、下位2チームが下位トーナメントに進出する

そして上位トーナメントを勝ち抜いた2チームと下位トーナメントを勝ち抜いた2チームで準決勝を行う

トーナメント図 「」内は試合数

### 1回戦

Aリーグ2位VS Bリーグ1位「01」

Cリーグ1位VS Dリーグ2位「02」

Aリーグ1位VS Cリーグ2位「03」

Bリーグ2位VS Dリーグ1位「04」

Aリーグ4位VS Bリーグ3位「05」

Cリーグ3位VS Dリーグ4位「06」

Aリーグ3位VS Cリーグ4位「07」

Bリーグ4位VS Dリーグ3位「08」

### 2回戦

「01」の勝者VS「02」の勝者「09」

「03」の勝者VS「04」の勝者「10」

「05」の勝者VS「06」の勝者「11」

「07」の勝者VS「08」の勝者「12」

### 準決勝

「09」の勝者VS「12」の勝者「13」

「10」の勝者VS「11」の勝者「14」

### 決勝

「13」の勝者VS「14」の勝者「15」

## ルール

9イニング制延長12イニング（トーナメントは15回）

DH制は以下のように決める AリーグCリーグ有 BリーグDリーグ無

トーナメント ルーレットで決める

球場（脳内イメージでお願いします）

リーグ戦 幻想郷スタジアム（マグマドーム）

上位トーナメント 阪神甲子園球場

下位トーナメント Kスタ宮城

準決勝 決勝 かぶき町球場（ブルースタジアム）

これが大まかなルールです 出場する16チームは引き続き

## ルール説明（後書き）

### 小説の世界観

この世界は様々な作品のキャラがいる世界、マスハンと八雲紫が世界を管理している。

マグマドームとブルースタジアムはパワプロであった球場です。

幻想郷スタジアムは幻想郷の球場、かぶき町スタジアムは銀魂の世界にある球場という設定です。

## チーム紹介（前書き）

出場する16チームの紹介をします。

## チーム紹介

1 チーム名：マリオファミリー  
マリオファミリーとある3人を引き抜いたチーム  
チームの中心であるマリオを筆頭にクッパやドンキー等のパワーで  
勝利に導く 投手層も厚く、エースのワルイージの変化球も冴えわ  
たる  
中心選手 マリオ クッパ ワルイージ  
監督 マリオ

2 チーム名：放課後ティータイム  
けいおん！大学編とボカロとお空以外の地霊殿メンバーの合同チーム  
エースの秋山筆頭にさとりやこいしと強力な投手が多い 運動音痴  
だが意外性のある平沢唯にも期待  
中心選手 秋山澪 平沢唯 初音ミク  
監督 吉井香奈

3 チーム名：幻想郷タートルズ  
打撃に優れたチームでアリス監督の采配が冴えわたる 左右のエー  
スの霊夢と魔理沙と打撃のキーマンの紅姉妹に期待大  
中心選手 博麗霊夢 霧雨魔理沙 レミリア  
監督 アリス・マーガトロイド

4 チーム名：守矢フロツグス  
タートルズとは打って変わって守りのチーム エース右腕の白蓮と  
ミラクルストッパーの早苗がキーマン 神霊廟組の神子にも期待  
中心選手 東風谷早苗 聖白蓮 豊聡耳神子  
監督 東風谷早苗



5 チーム名：765エンジェルス  
選手層が厚く結束力があるチーム 特にチームリーダーの天海春香に注目したい エースは何とエースナンバー18の水瀬伊織はスローカーブでビシッと抑える  
中心選手 天海春香 水瀬伊織 我那覇響  
監督 武田蒼一

6 チーム名：ニコニコオールスターズ  
ニコニコ動画で人気のキャラが勢ぞろいのチーム ゆっくりと水銀燈の打撃が脅威 投げては闇遊戯が必殺フオークで<sup>奪</sup>ずっと俺のターンをガンガン奪っていく  
中心選手 ゆっくり 水銀燈 闇遊戯  
監督 ドナルド・マクドナルド

7 チーム名：山純ガチレスホモリアン  
山純作品とレスキャラのまさかのコラボ 最も危険ない男の阿部さんや変態淑女の黒子やSOS団等ある意味危険なチームである  
中心選手 阿部高和 白井黒子 涼宮ハルヒ  
監督 阿部高和

8 チーム名：スマブラオールスター  
マスハン監督の起用法に驚かされる エースのマルスは大会屈指の右腕 ピカチュウ、ソニック、フォックスのスピードスターも脅威でアイク、カノンドロフのパワーも注目  
中心選手 マルス ソニック カノンドロフ  
監督 マスハン

9 チーム名：コロコロオールスター  
歴代コロコロコミックのオールスターチーム 正捕手の佐々木球次郎のリードはトップクラス クロえもんやコロツケ等強打者も多い

中心選手 佐々木球次郎 クロえもん シロえもん  
監督 キング・サダハル

10 チーム名：疾風のラッキースターレモン  
ハヤテのごとく！とらきすたとイカ娘のコラボチーム ヒナギクと  
マリアと超人コンビにイカ娘の勝負強さとこなたのスピードで勝利  
を持っていく ダブルエースのハヤテとかがみにも注目  
中心選手 桂ヒナギク 綾崎ハヤテ 泉こなた  
監督 黒井ななこ

11 チーム名：万事屋銀ちゃん  
チームワークはゼロだが底力があり接戦に強い 注目はエースの土  
方とセツトアツパーの銀時か 神楽もパワーが脅威でセーフティ  
バントも得意  
中心選手 坂田銀時 土方十四郎 神楽  
監督 お登勢

12 チーム名：バカと生徒会と迷い猫  
バカテスと生徒会の一存と迷い猫のコラボチーム 投手は4人しか  
いないが強力 打撃は吉井（バカテス）と文乃と椎名深夏が頼り  
中心選手 吉井明久 芹沢文乃 桜野くりむ  
監督 都築乙女

13 チーム名：石矢魔連合  
智将古市の采配が光るものがある 投手はエースの邦枝葵が頼みの  
綱 打撃は脅威で特に男鹿、東条、ヒルダのクリーンナップが恐ろ  
しい  
中心選手 男鹿辰巳 ヒルダ 邦枝葵  
監督 古市貴之

14 チーム名：夢幻クイーンビーズ  
東方旧作で集められたチーム 注目は160キロオーバーのストリートを投げるエースの魅魔と打者のキーマンの岡崎か多彩な変化球を投げるストッパーの神綺にも期待  
中心選手 魅魔 岡崎夢美 神綺  
監督 魅魔

15 チーム名：わかばガールズ  
けいおん！在校生編と永遠亭組とあるシリーズの合同チーム チームリーダーの梓でチャンスメイクし勝負強い憂と妹紅が返す勝利パターン チート月姉妹にも期待  
中心選手 中野梓 綿月依姫 藤原妹紅  
監督 蓬萊山輝夜

16 チーム名：魂兄弟<sup>ソウルブラザー</sup>  
萌え魂全開の変態チーム 選手数は16チーム中最少だが結束力は無駄に強い だがエースの前原と正捕手の杉崎は侮れない  
中心選手 前原圭一 サンジ 杉崎健  
監督 前原圭一

この16チームが優勝を目指して火花を散る！



## 抽選会（前書き）

注意！ この小説にキャラ補正とかかけていません。後、いろんな意味でとんでもないこととしてかしたりします（特に山純ガチレズホモリアン） 胃薬は用意した方がいいです。理由は後程解ります。

## 抽選会

射命丸「皆さんこんにちは〜！清く正しい射命丸文です！今日は1  
6チームの抽選会の会場に来ております！」

はたて「ちよつと！先に言うじゃないわよ！文！あつ、こんにちは  
！姫海棠はたてです！」

椀「そして！アシスタントの犬走椀です！」

射命丸「さて、抽選会まで後2時間になり、会場も息苦しい空気が  
漂ってます！」

はたて「選手がまだ来てないのによくそんな事言えるわね。」

はたての言う通り、会場は閑散としていた

射命丸「まあ、早ければ何にでもできますからね。」

すると、1台のバスが現れた

射命丸「あやや！早いですね〜早速来ましたよ〜」

降りてきたのは・・・

サンジ「フフフ・・・遂に俺たちのエロパワーを見せる時が来た。」

近藤「勝ってお妙さんの・・・グフフフ・・・」

はたて「何？このチーム？エロい妄想してるんだけど。」

射命丸「えーと、ソウルブラザー魂兄弟ですね。」

はたて「まさか・・・」

????「ハ〜ハッハッハッハ！」

富竹「トミー！」

入江「イリー！」

蔵人「クラウト！」

圭「そして・・・我が名はK！」

射命丸「あやややややや・・・ソウルブラザー魂兄弟・・・」

椀「何ですか？それって？」

はたて「萌えに魂を込めて、義兄弟になったチームです・・・」

射命丸「あつ、次のバスが来ました。」







希「・・・にゃあ・・・」

くりむ「目指すはもちろん優勝よ！」

明久 雄二 巧「・・・（絶句）」

海馬「フハハハーン この海馬コンポレーションの名を轟かせる時が来た！」

水銀燈「いや、宣伝目的で参加してるんじゃないから。」

ゆっくり「水銀さんの言うとおり（ゆっくり音）」

アナウンス「これより、野球大会抽選会を始めたいと思います。」

圭「遂に来たか・・・」

豊姫「待つてました」

各チームの代表にリーグ戦の紙が渡される

アナウンス「まずは今ここにいる16チームを4チーム4組に分かれてもらい、リーグ戦を行ってもらいます。その中から上位2チームが上位トーナメント下位2チームが下位トーナメントに進出します。尚、リーグ戦は延長12回までとし、同率のチームがいるときは勝ち点、ヒット数、エラーの少なさ、それでも同じなら決着戦で決め、勝った方が上位となります。」

一通りの説明が終わりいよいよ抽選

アナウンス「まず、765エンジェルズの代表前へ。」

天海「はい！」

765エンジェルズ代表の天海春香がくじを引く

天海「えーと、765エンジェルズ「B-1」です。」

アナウンス「765エンジェルズ、「B-1」です。」

「B-1」に765エンジェルズの札が置かれる

アナウンス「続きまして、山純ガチレスホモリアンの代表前へ」

山純ガチレスホモリアン代表の阿部さんがくじを引く

阿部さん「山純ガチレスホモリアン「C-3」だ。」

と、次々に抽選が決まっていく

くりむ「バカと生徒会と迷い猫「B-2」よ！」

マリオ「マリオファミリー「A-4」だ。」

銀時 「万事屋銀ちゃん「C-2」」

魅魔 「夢幻クイーンビーズ「D-3」」

ミク 「放課後ティータイム「D-1」です。」

ドナルド 「ニコニコオールスター「C-1」だよ」

そして……

アナウンサーソウルブラザー 「魂兄弟代表前へ。」

鍵 「よし来た！」

富竹 「頼んだ！K！」

圭 「任せとけ！」

魂兄弟代表のK毎圭一がくじを引く

圭一 「魂兄弟「A-2」だ。」

クマ吉 「もじゃ……」

ムッツリ ニ「……開幕戦。」

そして、すべての抽選が終わりこのようになった

Aリーグ（順不同）

マリオファミリー

守矢フロツグス

魂兄弟

わかばガールズ

Bリーグ

765エンジェルズ

ココロオールスター

スマブラオールスター

バカと生徒会と迷い猫

Cリーグ

ニコニコオールスター

山純ガチレスホモリアン

万事屋銀ちゃん

幻想郷タートルズ

Dリーグ

石矢魔連合

放課後ティータイム

疾風のラッキースターレモン

夢幻クイーンビーズ

アナウンス「最初の試合はこうなります。」

Aリーグ

第1試合

守矢フロッグスソウルブラザーV S 魂兄弟

第2試合

わかばガールズV S マリオファミリィ

Bリーグ

第1試合

765エンジェルズV S バカと生徒会と迷い猫

第2試合

ココロオールスターV S スマブラオールスター

Cリーグ

第1試合

ニコニコオールスターV S 万事屋銀ちゃん

第2試合

山純ガチレズホモリアンV S 幻想郷タートルズ

Dリーグ

第1試合

放課後ティータイムV S 疾風のラッキースターレモン

## 第2試合

### 夢幻クイーンビーズVS石矢魔連合

アナウンス「開幕戦のカードが決まりました。これより3日後に試合を行います。それでは、3日後にお会いしましょう。」

明久「・・・なんやかんやでオワタなコレ。」

秀吉「そうじゃのう・・・765エンジェルズは強いうえに結束力も強いからな。」

くりむ「ネガティブな事考えないで！私は勝つことしか思いつかないわよ！」

希「にやあ・・・負ける前提で挑むのは止めた方がいいと思う。」

乙女「希ちゃんの言うとおりよ、さあ、765エンジェルズ戦に向けて練習よ！」

白蓮「相手は魂兄弟ですか。」

天子「名前からして余裕だね」

入江「聞き捨てにならないな、この言葉。」

ここでフロッグズと魂兄弟ソウルブラザーが激突した

鍵「確かに魂兄弟は16チーム中選手数は少ないし力もない。」

サンジ「だが、エロパワーと結束力は誰にも負けん！」

天子「それは楽しみだね。」

早苗（東方の方）「天子さん、茶番は止めてください・・・で3日後が楽しみですね、勝つても負けても恨みっこはないですよ。」

圭「ああ、お互いいい試合しようぜ。」

そいうと、守矢フロッグズのメンバーは去って行った

蔵人「行き成りの強豪だな、K。」

圭「ああ、3日後に向けてミーティングだ！」

魂兄弟ソウルブラザー「おう！」

次回から開幕試合プレイボール！

## 抽選会（後書き）

作者「とゆうわけで次回から魂兄弟VS守矢フロッグス戦です。1試合3〜5回とスタメン発表とハイライトで一つです。」

スタメン発表 1回〜3回 4回〜6回 7回〜9回 10回〜12回 13回〜15回（決勝トナメのみ） ハイライト（基本5話分）

作者「後、チーム紹介でいくつか編集しました。前者が変更前後者が変更後です。」

吉井（けいおん） 吉井香奈 理由：フルネームが判明した為  
ヤマジユン 阿部高和 サガミネーター キング・サダハル 理由：  
やっぱり実在する人を出すのは良くないので

作者「以上です。ユーザーじゃなくてもいいので感想を待ってます！次からは出場している選手も登場します。」

## Aリーグ第1試合スタメン発表（前書き）

マスハン「おい、次回プレイボールとか言ってたけど、何故スタメン発表のみなんだ？」

作者「あらかじめデータとか言っておいた方がいいだろう。てなわけですタメン発表です。ホントに試合するのは次回です。すいません。」

マスハン「見方はこれだ。因みにアナウンスはデータ等は言っていないことにしてくれ。」

データ「いわゆる特徴、一部は二コ動の野球ゲーム動画の能力を参考に行っている。能力はS、E単位で野手は打撃、走塁、守備で投手は球速、制球、体力、変化の順、2回目以降は成績

脳内テーマ「選手が打席に入った時で俺が頭の中でイメージしている曲

球種「投手のみ、投げられる球種で最高球速も載せている

作者「最後に脳内OPを設けてます。記念すべき最初のOPはバクチ・ダンサーでお願いします。」

マスハン「こんな作者だが宜しくな。」

## Aリーグ第1試合スタメン発表

本編の前にどうして野球大会を開くことになったのか・・・と言っても作者が書くの忘れたただけだね。

ある日、野球神である（この小説の世界では）八坂神奈子は八雲紫とマスハン（マスターハンド）に野球大会の開催を申し出た。それを受け入れた紫とマスハンは早速、あらゆる作品の世界に野球大会の開催を呼びかけた。

紬と吉井軽音部部长を中心に着々と選手勧誘をするけいおん！大学組先輩たちと組むより戦いたいけいおん！高校組とそれに意気投合した永遠亭組と当麻達

マリオとクッパが意気投合して敵味方関係なくマリオ作品のキャラを勧誘するマリオファミリー

マリオ作品以外のスマブラキャラを中心に勧誘するマスハンとクレハン

とにかく目立ちたいお子様生徒会長桜野くりむ

神奈子達、東方キャラが出場すると聞いて参加したアイマス組

お嬢様のわがままでマリアと一緒にヒナギク達や他作品のキャラを勧誘する執事ハヤテ

阿部さんと意気投合した変態黒子

コロコロコミック作品に参加を呼び掛けるキング・サダハル

タートルズに対抗するため、命蓮寺や神霊廟組を勧誘する守矢組

同じニコニコ動画の同志を勧誘する教祖ドナルド

萌魂を持つものを勧誘する圭一等・・・で、抽選会から三日後、遂に野球大会が開催される

開幕試合は圭一率いる魂兄弟ソウルブラザーと早苗率いる守矢フロツグス果たして勝つのはどのチームか・・・

元校長「スタメンはどうするのじゃい？」

鍵「少ないといろいろ大変だからな。」

圭一「スタメンはもう考えている。」

富竹「おお！流石K！」

圭一「まあ、1日かかったけどな。」

射命丸「スタメンはどうしますか？」

早苗（東方）「なるべく、神霊廟組を出場させたいと思ってます。

先発はエースの白蓮さんを出したいところですが調子のいい天子に任せます。」

天子「解ったわ。」

小鳥「どうも皆さん！こんにちは！皆の心の事務員の音無小鳥です！今回は実況として開幕戦をお伝えします！」

はたて「同じく実況を担当するはたてです！」

阿求「解説をして頂きます。稗田阿求です。」

はたて「今回はゲスト解説として幻想郷タートルズの魔理沙さんとニコニコオールスターのなのはさんに来て頂きました！宜しくお願  
いします！」

魔理沙「宜しくな。」

なのは「宜しくお願います。」

小鳥「さて、魔理沙さん、開幕戦の雰囲気はどうですか？」

魔理沙「そうだな。開幕戦だけあって重苦しい空気が漂うぜ。」

小鳥「ほうほう・・・さて、なのはさん、両チームの印象は？」

なのは「そうですね、守矢フロッグスはクローザーの早苗投手が来るまでにリードを作れるかに決まってきましたね。一方、魂兄弟は力  
不足を結束力で補っている感がありますね。」

阿求「そろそろスターディングメンバーの発表です。先攻はフロッ  
グス、後攻は魂兄弟ソウルブラザーとなっています。」

アナウンス「それでは、守矢フロッグスのスターディングメンバ  
を発表します。」

1番センター射命丸文 データ：幻想郷最速の異名を持つ大会屈指



の俊足、その足の速さは転がしたりすればヒットになる程 打撃C  
走塁S 守備A テーマ：風神少女

2番セカンド物部布都 データ：バツテイングが良く、悪球打ちが得意 反面守備が下手 打撃A 走塁C 守備E テーマ：大神神話伝  
3番キャッチャー豊聡耳神子 データ：曲者バツテイングと巧みなキャッチャーリードが売りの選手 打撃A 走塁D 守備A テーマ：聖徳伝説

4番ファースト八坂神奈子 データ：野球神で今大会の提案者 ホームランが狙えるパワーを持つが軽打が好み 打撃S 走塁D 守備A  
テーマ：神錆びた古戦場

5番指名打者霊鳥路空 データ：？（バカ）だけに？力 一歩間違えば即、ホームラン 打撃A 走塁C 守備D テーマ：霊知の太陽信仰  
6番サード永江衣玖 データ：非常に勝負強く、ファイバーする事を命を懸ける ただ足がもの凄く遅い打撃B 走塁E 守備B テーマ：黒い海は紅く

7番レフト封黙ぬえ データ：正体不明で投手以外全てのポジションに守れるユーリテーパープレイヤー 打撃B 走塁B 守備B テーマ：平安のエイリアン

8番ライト幽谷響子 データ：自慢の強肩でランナーを刺すのが得意 本職は捕手だが今回は外野の出番が多い 打撃C 走塁B 守備A  
テーマ：門前の妖怪小娘

9番ショート蘇我屠自古 データ：布都とは対称的に守備が上手くバツテイングが下手 打撃D 走塁C 守備S テーマ：夢殿大祀廟  
ピッチャー比那名居天子 データ：MAX157キロのストレート「全人類の緋想天」を投げる豪腕 ただ、ノーコンで変化球が曲がらない 球種：全人類の緋想天（ストレート）MAX157キロ  
スラップ パーム SFF 球速S 制球D 体力S 変化球D テーマ：有頂天変

入江「少し嘗められているぞ、俺たち。」  
蔵人「俺たちはガチメンバーだ。負けるわけには行かない！」

アナウンス「それでは、魂兄弟のスターディングメンバーを発表します。」

1番センターサンジ データ：エロコック、足が速くチャンスメイクも得意 打撃B走塁A守備B テーマ：ひぐらしのなく頃に（以降、全てひぐらしのなく頃に）

2番ショートムツツリーニ データ：運動神経は良い（エロい事に使ってるけど）土屋康太？誰それ？ 打撃C走塁A守備A

3番キャッチャー杉崎鍵 データ：頭が良く、リードが上手い まあ、誰かさんのせいで紳士要素ついてるけど 打撃B走塁C守備A  
4番レフト近藤勲 データ：真選組よりお妙さんの・・・を取ったゴリラ 結構強打者 打撃S走塁B守備C

5番ファースト大石蔵人 データ：ハニーガール大好きの変態紳士  
こっちもパワーがある 打撃A走塁D守備B

6番指名打者橋純一 データ：紳士の発言が目立つアマガミの主人公 守備が下手だがバッティングは上手い 打撃S走塁C守備E  
7番セカンド入江京介 データ：メイド大好きの変態紳士 中々の俊足を持つ 打撃B走塁A守備A

8番サードクマ吉 データ：ご存じ変態紳士 様々な名（迷）言を残したことで有名 力はないが投手以外なら全て守れる 美鈴じゃね？とか言っな 打撃C走塁C守備C

9番ライト元校長 データ：かなりの俊足を持つ まあ、幻想郷最速とか音速のハリネズミとかには遠く及ばないけどね 他はカス、だつて最弱キャラだもん 打撃E走塁S守備D

ピッチャー前原圭一 データ：魂兄弟のリーダーで監督兼任 変態にしては侮れないピッチングをする 球種：ストレートMAX14  
9キ口 スライダー エンジェルモート（カーブ） フォーク 球速A制球B体力A変化A

早苗「変態チームにしては中々いいメンバーじゃないですか。」

小傘「わちきはスタメンじゃないのかだわさ・・・」

天子「変態共をコテンパンにしてやりたいね。」

小鳥「スタメン発表が终えいよいよ試合開始の時を待つのみです！」  
審判「それでは、試合を開始します。一同礼！」

両チーム「宜しくお願ひします！」

魂兄弟が守備に入る

はたて「フロツグスの先発は緋想非緋想天の娘比那名居天子、対する魂兄弟ソウルブラザーの先発はエースの前原圭一です！さあ、開幕戦を勝利するのはどちらでしょうか！」

次回！今度こそプレイボール！



Aリーグ第1試合1〜3回（前書き）

射命丸「あやや・・・私、実況の方がいいでしょうか・・・」

椀「射命丸様、安心してください、次の試合からは暫く実況に入れますよ。」

射命丸「そうですね。私はフロッグスのスタメンに入ってますので私の活躍を見てください!」

椀「不安ですね・・・あつ、実況とメイン解説に〇〇選手と言わせてます。」

例

秋山澪 澪選手

レミリア・スカーレット レミリア選手

近藤勲 近藤選手

椀「以上です。それでは本編どうぞ!」

## Aリーグ第1試合1～3回

アナウンス「只今より、Aリーグ第1試合 魂兄弟ソウルブラザー 対守矢フロッグスの試合を開始します。」

1回表 守矢フロッグスの攻撃

1番 センター 射命丸

圭「俺たちの取材を無視した奴か・・・」

射命丸「まずはヒットを狙いますよ！」

鍵（ここは内角を振らせよう！）

圭（OK！）

小鳥「さあ、圭投手、両手を振りかぶって・・・投げた！」

圭「たあ！」

バシン！

審判「ストライク！」 ストレート143キロ

射命丸（あやや、内角を攻めてきましたか）

魔理沙「圭、まずは内角を攻めてきたか。」

なのは「打ち損じ狙いですね。」

鍵（もう一回だ！）

第2球目

圭「たあ！」

バシン！

審判「ボール！」 ストレート145キロ

圭「外れたか・・・」

3球目、4球目も外れこれで3ボール1ストライク

魔理沙「射命丸は足の速さが異常だから、塁に出されると色々厄介だぜ。」

圭（次は変化球だ！）

鍵（解った！）

5球目

圭一「たあ！」

射命丸「来た！」

射命丸が打ってきた・・・だが  
ガッン！

圭一が投げてきたのは内角低めのスライダーだった

蔵人「いくら足が速くてもファーストゴロは無理だろう。」

射命丸「あややや・・・」

蔵人が1塁踏んでアウトにした

鍵「よし！1アウト！」

2番 セカンド 物部

物部「御前の力を見せてもらうぞ。」

圭一「よし！行くぞ！」

圭一の物部に対しての第1球

圭一「たあ！」

物部「ふん！」

カキン！

審判「ファールボール！」

魔理沙「難しい球をここまで・・・」

阿求「悪球狙いですな。」

その後、ファールで粘られ第4球

圭一「これで三振だ！」

物部「貰った！」

カキンッ！

クマ吉「これは無理だよ！」

圭一のフォークを捉えた物部

物部「まずは、ヒットだ。」

圭一「いいコースだったか・・・」

3番 キャッチャー 豊聡耳

入江「ここは併殺打狙いに行きたいところ。」

圭一「そうだな、だが相手はそれをやらせてはくれないだろう。」

はたて「神子選手、ここはバントをしてくるのでしょうか、それとも打ってくるのでしょうか。」

魔理沙「次は神奈子だから1点でもと言うならバントしてくるな。」  
神子「ここは……。」

右バッターボックスに立った神子 圭一の答えは……

圭一「ここは打ってくるな、あの魔球を……。」

鍵「決まったか？」

圭一は頷く

注目の初球

圭一「喰らえ！」

魔球 エンジェルモート

神子「カーブか……だが！」

コン!

圭一「な！」

鍵「バント!？」

送りバントが成功し、2アウトながらランナーは2塁となった

4番 ファースト 神奈子 チャンステーマ神々が恋した幻想郷

圭一「ここで1番注意したいバッターがきやがった……。」

神奈子「さてと……まずは1点取りに行こうか」

鍵「一発注意だ!変化球でかわそう！」

圭一「ああ！」

圭一、神奈子に対して第1球

圭一「そりゃ！」

神奈子「……一発注意で変化球で勝負したか……だが！」

カキン!

小鳥「おっと!神奈子選手!左中間を破った!」

サンジ「凄いパワーだな。」

小鳥「今2塁ランナーホームイン!更に神奈子選手も2塁に進みます!」

八坂神奈子 タイムリー2ベースヒット!



フロツクス1 - 0 魂兄弟 ソウルブラザー

圭「しまった・・・東条、トミー早いが投球練習してくれ・・・まだ投げるけど崩れたら変えざる負えないからな。」  
富竹「解った。」

東条「解りました。」

小鳥「それにしても圭一投手、読みが外れましたね。」

魔理沙「ああ、神奈子はホームランを狙えるぐらいのパワーがあるが軽打を好むからな、圭一の判断ミスだぜ。」

阿求「軽打にしては凄いパワーですよ。」

5番 指名打者 空

圭一「これは・・・」

鍵「また怖いバッターだな。」

お空「うにゅ！（ホームラン！）」

圭一（一歩間違えれば、ホームランだな・・・）

鍵（だがお空は？（バカ）だ、わざと打たせれば・・・そうだ！）  
突如閃いた杉崎は圭一にサインを送る

圭一（ん？成程！）

杉崎のサインに圭一の首が頷いた

そして注目の第1球

圭一「はあ！」

お空「ど真ん中！もらったーーーーー！！！！！！」  
ブン！

お空「うにゅ？」

ほぼ直角のフォークに空振りをするお空

圭一「やっぱり！お空はパワーヒッターだから早打ちフルスイングして空振りの可能性が高い！」

そしてお空を追い込み・・・

審判「ストライク！バッターアウトッ！」 フォーク129キロ

圭一「よっしゃ！」

早苗「早くも？という事がばれてしまいましたか・・・次は頑張っ

てください！お空ちゃん！」

お空「うにゅ」

はたて「守矢フロックス、初回1点先制で始まっています！そして魂兄弟の攻撃です！」

1回裏 ソウルブラザー 魂兄弟 の攻撃

1番 センター サンジ

天子「さっさと終わらせるわ！」

サンジ「そう簡単には終わらせん！」

圭一「サンジ、ここは奇襲をかける！」

サンジ（解ったぜ！ブラザー！）

左バッターボックスに入るサンジ

圭一（天子は絶対に俺たちを嘗めている・・・上手くいく筈だ）

天子の第1球

天子「とりや！」

バスンッ！

審判「ボール！」 全人類の緋想天148キロ

サンジ「ブラザーが言った通りだ・・・」

圭一「やっぱり・・・初球を外したか・・・」

ムツツリニ「・・・圭一・・・サンジにどんなアドバイスを・

・・・」

圭一「天子は俺たちを嘗めきってるから・・・」

コッソ

天子「なっ！」

圭一「セーフティバントをして欲しかったんだ。」

はたて「サンジ選手！セーフティバントで出塁しました！」

2番 ショート ムツツリニ

天子「中々やるわね・・・」

ムツツリニ「・・・繋ぐ。」

小鳥「出鼻を挫かれた天子投手！気を取り直して第1球目！」

天子「はあ！」

バスンッ！

審判「ストライク！」 全人類の緋想天149キロ

小鳥「監督兼選手の圭一選手はどのように指示をするのでしょうか？」

なのは「そうですね、送って主軸に回す手もありますね。」

天子「さあ、追い込んだわよ」

2ストライク2ボールと追い込まれたムツツリーニ

天子「たあ！」

ムツツリーニ「……………クッ！」

カキンッ

平凡なレフトフライを打ち上げてしまったムツツリーニ

ぬえ「1アウトだ。」

3番 キャッチャー 杉崎

天子「中軸もさっさと片付けるか……………」

鍵「ぜつてー繋ぐ！」

天子「行くわよ……………」

サンジ「今だ！」

天子「やつ！」

バスンッ！

神子「やつ！」

蘇我「！」

審判「セーフ！」

魔理沙「ソウルブラザー魂兄弟……………動いたな。」

なのは「これで、天子投手の反応が変わると思いますよ。」

天子「くぬぬぬ……………」

圭一「こつちも全力で来る筈だ。」

天子（早苗の言つとおり、嘗めてかかったら痛い目に遭う……………だつたら！）

鍵「目つきが……………変わった。」

魔球 「全人類の緋想天」

バスン！！！！

審判「ストライク！」 全人類の緋想天157キロ

鍵「早い！藤川○児か！？」

諏訪子「天子が本気になったね。」

早苗「さあ勝負はこれからですよ！」

審判「ストライク！バッターアウト！」 全人類の緋想天156キロ

鍵「早過ぎて打てなかった・・・」

圭「でもチャンスだ。」

4番 レフト 近藤 チャンステーマ奈落の花

近藤「まずは同点だ！」

土方（観客席）「近藤さん！何故あのチームに！？」

くりむ（観客席）「杉崎もいないと思ったら・・・」

銀時（観客席）「まあ、あいつ等変態という名の紳士だからな。」

土方とくりむと銀時が言っているうちに1ボール2ストライクになった

天子「さっさと打ち取られなさい！ゴリラ！」

近藤「ストーカーは粘り強いんだ！」

はたて「自分でストーカーとか言いましたよ・・・」

お妙（観客席）「ふふふ・・・（金属バットを持っている）」

更に粘って10球目

天子「これで終わりよ！」

近藤「貰った！」

カキン！

物部「ぬっ！」

小鳥「近藤選手！10球粘ってセカンドを抜けてヒット！」

サンジ「これは・・・」

響子「ヤッホー！」

バシン！

サンジ「いけねえな・・・」

阿求「フロッグス、響子選手の強肩で同点を防ぎました。」

圭一「外野前ヒットでの得点はし辛いなあ……」

入江「ぬえも射命丸も肩強いからな……」

圭一「まあ、ここは皆を信じる。」

5番 ファースト 大石

はたて「2アウトながら1塁3塁です！」

阿求「同点……最悪逆転もありますよ。」

天子「ここは……最低限でも……」

神子（天子、変化球あるか？）

天子（あるけど……自信がないのよ……直球で行くわ）

早苗「天子さん、ここは抑えてください！」

天子「解った！はあ！」

カキン！

審判「ファールボール！」

小鳥「惜しい！大石選手きれなければ適時打でした！」

天子（捉えられそうね……変化球行くわよ）

神子（解った）

天子「やつ！」

蔵人「なっ！」

カキン

蔵人「しまった！」

衣玖「オーライ」

パス

審判「アウトツ！」 パーム130キロ

魔理沙「天子、パームボール使ってきたな。」

なのは「痛いですね、チャンスに物をにできずに。」

はたて「まだ初回です！試合はまだまだ続きますよ！」

小鳥「さあ、2回表フロッグスの攻撃です！果たして追加点とれる  
でしょうか！」

6番 サード 衣玖

圭「もう点等入れさせん！」

衣玖「そう・・・なら此処で打ってフィーバーにしてやるわ。」

圭「行くぞ！とりゃ！」

衣玖「！」

カキン！

審判「ファールボール！」

圭「結構速いけどな・・・」

衣玖「速いYO・・・」

その後ツーツーで追い込んだ圭

圭「はあ！」

衣玖「そら！」

カキンッ！

圭「しまった！」

鍵「ヒットになるぞ！」

ムツツリーニ「・・・させない」

バシンッ！

審判「アウト！」

衣玖「何イ！！！」

はたて「ムツツリーニ選手！何とファインプレー！」

7番 レフト ぬえ

圭「調子が出てきたな・・・」

ぬえ「ヤバいな・・・」

ぬえの言うとおり・・・

審判「ストライク！バッターアウト！」 スライダー128キロ

ぬえ「これは危険だな・・・」

諏訪子「ヤバイよ！調子でできたよ！」

神奈子「だが、序盤だ。調子を乗りすぎた所をつけ入るぞ。」

8番 ライト 響子

鍵（此処は変化球主体で抑えよう）

圭一（解った！）

そして・・・

審判「ストライク！バッターアウト！」 エンジェルモート130  
キロ

響子「駄目だったあゝ」

小鳥「圭一投手！二者連続三振で抑えました！」

2回裏魂兄弟の攻撃

6番 指名打者 橘純一

天子「負けられないし、さっさと終わらせるわよ。」

純一「必ず打つ！」

天子「それはどうかしら。」

スパーン！

審判「ボール！」 全人類の緋想天157キロ

天子「今のストライクじゃあ・・・まあいいや、打ち取ればいいし。」

「

純一「うりゃ！」

カキン！

ぬえ「レフトゴロ！・・・って無理か。」

はたて「レフト前ヒットで初回同様先頭打者を塁に出してしまいました！」

7番 セカンド 入江

天子（アイツは中々の俊足の持ち主だったね・・・併殺狙いたいけど無理かしら・・・）

入江「考え事か？」

神子（天子、ここに直球だ）

構えている場所に狙えと言ってきた神子

天子（そんなコースで大丈夫なの？）

神子（大丈夫だ、問題ない）

天子（聖徳太子でもこんなボケかますのかよ！まあいいわ）

小鳥「フロツグス、此処は併殺打を取りたいところ！」

天子「とりゃ！」

入江「おりゃ！」

ガキン！！

入江「しまった！」

物部「よつと」

純一「なっ！」

蘇我「ファースト！」

神奈子「よし来た！」

入江「ゲッツ！取られた！」

小鳥「注文通りのダブルプレーです！」

魔理沙「ここでの併殺は試合に影響しそうだけ。」

入江「一番打つてはいけない球を打ってしまった……」

圭一「次は繋いでくれよ イリ！」

8番 サード クマ吉

クマ吉「併殺打が効いているよ……」

天子「私の調子は有頂天！」

バッシー……！

審判「ストライク！全人類の緋想天157キロ

小鳥「天子選手、こんなに飛ばして大丈夫でしょうか！？」

魔理沙「まあ、天人だし飛ばしても大丈夫そうだがな。」

そして……

審判「ストライク！バッターアウト！」

クマ吉「動けないよ……」

はたて「ソウルブラザー魂兄弟、結局3人で終わってしまいました。2回裏が終了

し1-0でフロッグスリードです！」

3回表 フロッグズの攻撃

9番 ショート 蘇我

蘇我「守備はいいけどバッティングは……」

圭一「おりゃ！」



審判「ストライク！バッターアウト！」エンジェルモート120キロ  
蘇我「ほら・・・」

物部「蘇我は打撃が下手だからな。」

蘇我「そういう布都だつて守備があんまりじゃん。」

小鳥「圭一投手！これで三者連続三振！」

1番 センター 射命丸

射命丸 今度こそ打つて見せますよ！」

圭一「さて・・・どうするか・・・」

はたて「文は前の打席、ファーストゴロで終わっています。」

圭一「とりゃ！」

バシン！

審判「ボール！」スライダー119キロ

射命丸「あやや、明らかなボール球ですね。」

圭一「流石に誘つてこないみたいだな・・・なら！」

バシン！

審判「ストライク！」スライダー120キロ

射命丸「これは私が前の打席で打ち取られた球・・・」

圭一「見送つた・・・という事は球種が減っているな。」

その後、射命丸をツーツーに追い込む

そして・・・

圭一「これだ！」

射命丸「貰いました！」

ブン！

射命丸「あや？」

審判「ストライク！バッターアウト！」エンジェルモート127キロ

鍵「よっしゃ！魔球で打ち取つた！」

はたて「これで圭一投手は四者連続三振！」

誠「調子がいいな、圭一。」

富竹「この調子で行つて欲しいな。」

2番 セカンド 物部

物部「さあ、かかって来い！」

圭一（布都は悪球打ちだったな・・・なら！）  
物部「！」

カコンッ

鍵「3アウトだ。」

小鳥「フロツグズ、この回も三者凡退！魂兄弟の攻撃は9番ライト、  
元校長！」

魔理沙「ここまででは投手戦か。」

なのは「両投手、いいピッチングですよ。」

3回裏 ソウルクラザー 魂兄弟 の攻撃

9番 ライト 元校長

元校長「かかってくるのじゃい！」

天子（アイツは足以外はカス当然！）

元校長「じゃい！」

スパーン！

審判「ストライク！」全人類の緋想天153キロ

元校長「早すぎるのじゃい！」

天子「次はこれよ！」

スパーン！

審判「ストライク！」全人類の緋想天155キロ

なのは「外の直球の後に内の直球・・・」

阿求「厳しいですね。」

天子「止め！」

元校長「じゃい！」

カキンッ！

天子「えっ!？」

はたて「元校長選手！ライト前にポテンヒット！」

ぬえ「中々やるわね・・・」

神奈子「次は1番だ。気を抜くなよ。」

1番 センター サンジ

天子「前の打席では出し抜かれたけど、今回はその通りにはいかせないわ。」

サンジ「レディの為にこの打席も打たせてもらうぜ！」

カウントはフルカウント、四球を出せは守矢フロッグスピッチになる！

天子「行くわよ！」

サンジ「！」

バシン！

審判「フォアボール！」スラップ135キロ

小鳥「四球を出し、ノーアウトランナー1、2塁！ソウルブラザー魂兄弟一打同点のチャンスです！」

2番 ショート ムツリーニ

天子（少なくとも同点に留めないと！）

ムツリーニ「ここは打つ。」

天子「行くわよ！はあ！」

ムツリーニ「・・・決める。」

カキンッ！

小鳥「あつーと！ライト方向に打ち上げてしまいました。」

阿求「でも、タッチアップにはもってこい距離です。」

響子「取ったよ！」

サンジ「今だ！」「三塁へ」

これで1アウト1塁3塁で中軸に回ってきた。ソウルブラザー魂兄弟一打同点逆転のチャンス！

3番 キャッチャー 杉崎

天子「ぐぬぬぬ・・・ここは・・・」

しかし、怒りのあまり狙いが定まらず。3ボール

天子「ちい！」

神子「天子！落ち着け！」

天子「とりゃ！」

衣玖「不味いかも・・・」

鍵「貰った！」

カキーン！

はたて「杉崎選手打ったあ！ボールは左中間を真つ二つ！

元校長「同点じゃい！」

サンジ「一気に本塁に進む！」

ぬえ「ちい！3塁回ってる！」

サンジ「逆転だ！」

小鳥「ソウルブラザー魂兄弟が逆転！杉崎選手がタイムリー2ベース！」

フロツグス1-2ソウルブラザー魂兄弟

衣玖「総領嬢様、まだ諦めるのは早いですよ。」

天子「そうね・・・この回を何とか終わらせるわ。」

4番 レフト 近藤

近藤「よし！かかってこい！」

天子「はあ！」

近藤「甘い！ここだ！」

カッキーン！

天子「！」

神子「しまった！」

ゴリラ・・・もとい近藤の放った打球はレフト方向に大きなアーチを描かれた

三塁審判「ホームラン！」

小鳥「いったアアアアアア！！！！！！近藤選手！2ランホームラン！」

阿求「綺麗なアーチでしたね。」

なのは「一気に持っていきましたね。」

近藤「よっしゃ！」

鍵「ナイス！」

フロツグス1-4ソウルブラザー魂兄弟

早苗「うーん・・・これは変えた方がいいかしら・・・」

神奈子「早苗、まだ変えるのは早い、もう少し引っ張らせよう。」

早苗「解りました。」

5番 ファースト 大石

衣玖「総領娘様、平常心です。」

天子「ありがとう、衣玖。」

蔵人「ここからは気を抜けないな・・・。」

魔球「全人類の緋想天」

天子「そりゃ！」

スパーーーーー！！！！！！！！

審判「ストライク！」全人類の緋想天157キ口

蔵人「何だと！」

天子「もう・・・。」

バシーン！

審判「ストライク！」全人類の緋想天155キ口

天子「皆の逆転を待つしかない！」

バシーン！

審判「ストライク！バッターアウト！」全人類の緋想天157キ口

なのは「天子投手、調子を取り戻しました。」

魔理沙「普通は完全に取り乱すかな。」

阿求「でも4点は大きいですからねー（毒）」

小鳥「あの・・・あつきゆんさん？」

6番 サード 橘

天子は純一を追い込み・・・

純一「なあ！」

ブン！

審判「ストライク！バッターアウト！」全人類の緋想天156キ口

はたて「3アウトになりましたが魂兄弟ソウルブラザーは杉崎選手のタイムリー2

ベースヒットと近藤選手の2ランホームランで4点を奪い、逆転に

成功してます！」

次回！中盤戦！試合はさらに過熱する！

「俺の怒りは有頂天！」

魔理沙「プロント語来たアアアアアアアアアアアア！……！」



Aリーグ第1試合4〜6回（前書き）

作者「スマン・・・色々と文の間違いが目立ちます・・・何やってんだ俺。」

梓「誤字があったら感想の悪い点に指摘をお願いします。」



## Aリーグ第1試合4〜6回

試合は中盤、ソウルブラザー魂兄弟が3回に4点を奪い逆転に成功  
現在4対1でソウルブラザー魂兄弟が守矢フロツグスに3点リード  
果たして試合の行方は・・・

はたて「さあさあ試合は4回に入りました!」

阿求「試合が面白くなる時期ですからね。」

4回表 守矢フロツグスの攻撃

3番 キャッチャー 豊聡耳

神子「成程・・・結構、アウトにする欲が出ているな。」

現在1ボール2ストライク、2球ファールで粘り第6球目

圭一「そりゃ!」

神子「たあ!」

カキン!

入江「あれを打つのか!?!」

小鳥「神子選手!見事なセンター前ヒット!」

魔理沙「フロツグスは初めて先頭打者を塁に出したな。」

なのは「内角の直球を綺麗に打ち返してきましたね。凄いです。」

4番 ファースト 神奈子

はたて「ここで先制点を挙げている4番神奈子選手が右バッターボックスに立ちます」

圭一「さて、4番だな。」

神奈子「この打席も打たせてもらおう・・・野球神の名に懸けて!」

圭一「それはどうか・・・はあ!」

神奈子「クツ!」

バシン!

審判「ストライク!」ストレート149キロ

圭一「もう、点はやらん!最初っから飛ばす!」

神奈子「中々いい気迫だ。さぁ・・・かかってこい！」  
ガキン！

審判「ファール！」

小鳥「神奈子選手！追い込まれました！」

なのは「エースと4番の対決は熱いですね。」

魔理沙「さて、こつからどんな展開が待つのやら・・・」

その後、フルカウントになり6球目！

圭一「俺の魔球だ！」

魔球エンジェルモート

神奈子「はあ！」

バシン！

審判「ストライク！バッターアウト！」エンジェルモート126キロ

圭一「よし！」

見事、三振を奪った。これで圭一は計6個の奪三振を奪った

5番 指名打者 お空

圭一「休憩させる間も無く・・・」

鍵（併殺に打ち取ろう！）

圭一（よし！）「たあ！」

お空「えい！」

カキン！

審判「ファール！」

なのは「ボール球ですよ・・・」

魔理沙「？（バカ）だな・・・」

圭一「そりゃ！」

お空「うにゅ！」

カキン！

圭一「ボール球を無理矢理！？」

小鳥「お空ちゃん！ボール球を無理矢理ライト前へヒット！」

魔理沙「お空はパワー馬鹿だからな・・・」

これでフロッグス、1アウトランナー1塁2塁のチャンスで6番衣玖

早苗「さあ、ここで衣玖さん！」

衣玖「スタメン発表を投稿した11月20日は日曜日だから今回はサンデーモーニングフィーバー」

早苗「グラウンドで思いっきりフィーバーしてください！」

小鳥「ソウルブラザー魂兄弟、ホームランで同点の場面を乗り切ることが出来るのでしょうか！」

鍵「ここは1点で凌ぐぞ。」

蔵人「そのまま、終盤まで持ちこたえるぞ！」

衣玖「ふふふ……」

圭「とりゃ！」

衣玖「其処！」

カキンツ！

入江「届け！」

しかし、衣玖の打球は入江のグラフの前を抜けた

神子「よし、1点返した。」

フロツグス2 - 4 ソウルブラザー魂兄弟

衣玖「うーん、1点止まりか……」

早苗「まだ1塁2塁です。ここから逆転しましょう！」

7番 レフト ぬえ チャンステーマ：神々が恋した幻想郷

3ボール後……

圭「おりゃ！」

鍵「高い！」

バシン

審判「フォアボール！」

圭「1アウト満塁か……」

はたて「これで1アウト満塁になりました！ソウルブラザー魂兄弟、この大ピンチを切り抜けることが出来るのでしょうか！」

8番 ライト 響子

圭「中盤あたりは誠や東条が出るからな……トミーは終盤に出そう。」

富竹「解った。」  
圭「とりゃ！」  
響子「えい！」  
ガキン！  
審判「ファール！」  
圭「ついていくだけなら！」  
響子「絶対打つよ！」  
圭「これで！」  
響子「来た！」  
カキン！  
ふらふらと上がる響子の打球をサンジがダッシュする。しかし・・・  
サンジ「あっ！」  
不幸な事にサンジの前に落ちてしまいトンネルしてしまった  
お空「1点差！」  
天子「衣玖！回れ！」  
サンジ「させるか！」  
バシン！  
衣玖「危ないわね・・・」  
天子「そうだった・・・衣玖は足がもの凄く遅かった・・・」  
早苗「でも満塁の場面は変わりません。」  
4回表、響子がセンター前に落ちるポテンヒット！  
フロッグス3 - 4魂兄弟ソウルブラザー、  
これでフロッグスが1点差にまで追いついた  
9番 ショート 蘇我  
蘇我（衣玖、行きますよ）  
衣玖（難しいけどやってみる価値はある）  
フルカウントになって蘇我は何を仕掛ける気なのか  
圭「とりゃ！」  
衣玖「来た！」  
蘇我「仕掛ける！」

コッソ

鍵「なっ！」

圭「まさかのスクイズ！」

小鳥「守矢フロツグス！ここでスクイズを仕掛けてきた！」

圭「させるか！」

クラブトスをする圭

鍵「おりやアア！！！」

衣玖「てい！」

ズサーーーーー！！！！

審判「アウト！」

圭「よし！」

鍵「スクイズか・・・吃驚した。」

早苗「やっぱり通用しませんか・・・」

1番 センター 射命丸

射命丸「今度こそ打ちます！」

圭「試合を作れば・・・とにかく抑える！たあ！」

バシンツッ！

審判「ストライク！」フォーク122キロ

射命丸「あやや、相変わらずコーナーをついてきますね。」

圭「満塁だしな、点はやらん！」

射命丸「さあ！来なさい！」

なのは「フロツグスここで一打が出れば逆転ですね。」

魔理沙「ここはターニングポイントになりそうだな。」

圭「これで終わりだ！」

射命丸「はあ！」

ブン！

審判「ストライク！バッターアウト！」ストレート146キロ

射命丸「あやややや・・・」

射命丸、3打数無安打2三振 いいところが全くない

圭「やっとな終わった・・・」

はたて「フロツグスが2点を返しました！果たして、魂兄弟は突き放す事が出来るのか！」

4回裏 魂兄弟ソウルブラザーの攻撃

7番 セカンド 入江

入江「今度は打つ！」

天子「やれるもんならやってみなさい！」  
バシッ！

審判「ボール！」 SFF130キロ

神子「う〜ん・・・打つ欲が出ているな、三振が一番効率が良い」  
天子（じゃあ、三振ね）「たあ！」

スパーン！

審判「ボール！」 全人類の緋想天155キロ

天子「これもボール！？」

サンジ「入江は選球眼が良いな。」

圭「まあな。」

虎鉄「東条は？」

近藤「富竹とブルペンに行っている。」

誠「東条と富竹は投手登録だったな。」

審判「フォアボール！」

鍵「よし！先頭が出た！」

蔵人「次の打者は重要だぞ！クマ吉！」

クマ吉「本家変態という名の紳士の力を見せるよ！」

8番 サード クマ吉

天子「ここで点を取られたら、ズルズルいってしまっ！」

神子「慌てるな、天子。」

衣玖「そうです。総領娘様、ゆっくり考えてください。」

天子「解った・・・はあ！」

スパーン！

審判「ストライク！」 全人類の緋想天157キロ

衣玖「総領娘様、ナイスピッチングです。」



魔理沙「まだ流れがどつちなのか解らなくなったZ E」

9番 ライト 元校長

天子「そっぴや、アンタには打たれてたわね。この打席は打ち取らせてもらっわ！」

元校長「今度も打つのじゃい！」

諏訪子「早苗、天子は何回まで投げさせるの？」

早苗「少なくとも6、7回までは投げさせて中継ぎで1回ずつ投げて最後に私が投げたいと思ってます。」

カウントは1ストライク1ボール

天子「そりゃ！」

元校長「じゃい！」

バキッ！

元校長「バットが！？」

蘇我「アウトね。」

続いて1番のサンジには・・・

天子「はあ！」

スパーン！

審判「ストライク！バッターアウト！」

サンジ「打てなかった・・・」

ソウルラザ魂兄弟、ランナー出すも無得点に終わる

5回表 守矢フロッグスの攻撃

2番 セカンド 物部

圭「そりゃ！」

バシン！

審判「ストライク！バッターアウト！」

物部「くそ！」

鍵「これで8個目の奪三振か。」

圭「まだまだいけるぜ！」

続く3番神子にも強気で攻め

神子「くっ！」



ガキンツ！

蔵人「ここで打ち取ったのが大きい。」

入江「曲者だからな。」

しかし、4番神奈子には……

圭「たあ！」

神奈子「其処だ！」

カキンツ！

サンジ「間に合わねえ！」

神奈子がセンター前へヒット

早苗「神奈子様が出ましたよ。」

お空「ここでホームラン！」

神奈子を1塁に置いて5番お空

お空「うにゅ！」

圭「絶対に点はやらん！」

諏訪子「そろそろブルペンに行った方がいいね。」

早苗「そうですね。」

その後2ストライクに追い込み

圭「たあ！」

お空「うにゅ！」

ブン！

審判「ストライク！バッターアウト！」エンジェルモート123キ口

圭「よっしゃあ！」

小鳥「圭一投手が吠えた！」

魔理沙「これで9個目の奪三振。」

なのは「流れがこっちに来そうですね。」

はたて「5回表が終わって4対3、魂兄弟が1点リードしています

！」

ソウルブラザー

追加点を取りたい魂兄弟。しかし、守矢フロッグスの先発、比那名

居天子が立ちはだかる。  
2番のムッツリーニに対して

ムツツリーニ「！」

ガキン！

衣玖「YO！」

結局サードゴロに倒れ

3番の杉崎に対しては

天子「てや！」

鍵「パームか！ここか！」

カキイン！

パシイン！

蘇我「残念でした。」

鍵「いい打球だったがこれではなあ・・・」

4番のゴリラ・・・じゃない近藤勲は2安打2打点1本塁打を記録している

神子「要注意だ、天子。」

天子「そうね・・・たあ！」

スパン！

審判「ストライク！」全人類の緋想天155キロ

天子（何か狙ってるわね・・・）

近藤（天子は直球は速いしスタミナもあるが変化球は曲がらない。

狙うは変化球だ！）

天子（スプリット行くわよ！）「たあ！」

近藤「貰ったあ！」

カッキーン！

天子「嘘！？」

ぬえ「2打席連続は勘弁！」

しかし・・・

審判「ファール！」

ゴリラの連続ホームランはならず。天子は命拾いした。

天子（危な・・・これで直球しか・・・）

神子（だが2ストライクだ。変化球を外に外そう）

天子「一か八かね・・・いいわ」

そして注目の第3球目

天子「はあ！」

近藤（スラップか！だが外れる！）

バシン！

審判「ストライク！バッターアウト！」スラップ133キロ

近藤「何！？」

審判「ギリギリ入ってました。」

天子「つしゃあ！」

近藤「マジでかアアアアア！！！！」

はたて「5回を終了しました。これより後半戦に入ります！現在4対3で魂兄弟ソウルブラザーが1点リードしてます！」

白蓮「うくん・・・1点差ですか・・・」

マミゾウ「ズルズル行かれそうじゃな。」

早苗「まだですよ。こっから、奇跡のカーニバルを演じましょう！」

しかし、6番の衣玖は・・・

バシン！

審判「ストライク！バッターアウト！」スライダー122キロ

小鳥「圭一投手！これで10個目の奪三振！」

なのは「この調子で行って欲しいですね。」

だが、ここからフロツグスの逆襲が始まる

まず、7番のぬえが・・・

ぬえ「其処だ！」

カキン！

初球を打ち2ベースヒット

圭一「ここで点はやれない。どうするか・・・」

打席には8番響子

ここで早苗監督が動く

アナウンサー「バッター響子に変わりました、宮古。代打宮古芳香。」

はたて「おつと！ここで早苗監督が動いた！代打の宮古選手です！」

宮古芳香 データ：関節が曲がらない固定砲台 その分パワーが凄  
い 打撃B走塁E守備E テーマ：リシットパラダイス

宮古「さーて、打つのだー！」

圭一「ここで宮古か……」

鍵（だが、関節は曲がらない！変化球を投げれば抑えられる！）

圭一が頷く

圭一「そりゃ！」

宮古「そりゃ！」

カキイン！

審判「ファール！」

圭一「デカいな……」

宮古「……」

続く第2球目……

圭一「そりゃ！」

宮古「ここか？」

カキイン！

圭一「なっ！」

鍵「んなバカな！」

神子「ぬえ！本塁まで行くのだ！」

ぬえ「言われんでもな！」

近藤「行かせるかあ！」

ぬえ「ぬおおおおおおお！！！！！」

ズザー！

審判「セーフ！」

ぬえ「っしゅあ！」

小鳥「代打の芳香ちゃんのタイムリーでフロッグスが追いつきまし  
た！」

フロッグス4 - 4 ソウルブラザー魂兄弟

宮古「やったー！」



はたて「ここで、圭一投手が交代するようです。」

アナウンス「ピッチャー、圭一に変わりました東条。ピッチャー東条歩。」

阿求「魂兄弟ソウルブラザー、2番手は東条のようですね。」

東条「投球練習はこの辺でいいですね。」

東条歩 データ：いつも、ロフトやカーテンのシャーや九兵衛の事を考えているバカ サウスポーでサイドスロー 球速C制球B体力B変化C 球種：ストリートMAX136キロ カーテンのシャー（スライダー） ドロップ スクリュー

鍵「何時でもいいぞ。」

東条「解りました。」

1番 センター 射命丸

射命丸「ここで打てば・・・」

東条「行きますよ。はあ！」

射命丸「！」

ガキンツ！

クマ吉「取ったよ！」

射命丸「4打席無安打・・・」

2番の物部に対しても・・・

東条「たあ！」

物部「くっ！」

カキンツ！

ムツツリーニ「ファースト。」

蔵人「よし！」

審判「アウト！」

はたて「6回表が終了し、守矢フロッグスが3点を取り逆転に成功しています！2点を追う展開になった魂兄弟ソウルブラザーの攻撃です！」

6回裏 魂兄弟ソウルブラザーの攻撃

2点を追いかける形となった魂兄弟ソウルブラザー、最終回になる前に追いついた所

アナウンス「先程、代走に入りました椛がセカンドへ、代打に入りました小傘がライトへ、ショート物の物部に変更しましてナズーリンがショートへ、サードの衣玖に変更しまして寅丸星がサードへ入ります。2番ショートナズーリン。6番サード寅丸星。8番セカンド椛。9番ライト小傘。」

ナズーリン データ：星の目付け役 2番打者にはもってこい能力を持つ 打撃D走塁A守備A テーマ：小さな小さな賢将

寅丸星 データ：左の八雲藍と言われながら、本家では全然打てないシ・ラタマ2号 果たして今回はどうなるのか・・・ 打撃A

走塁B守備A テーマ：虎柄の毘沙門天

早苗「神奈子様、私がブルペンにいる間の指揮を頼みます。後、天子に無茶をさせないで下さい。」

神奈子「解った。」

早苗「さて・・・諏訪子様行きますよ。」

諏訪子「解ったよ。早苗。」

小鳥「おっと、早苗監督が諏訪子選手と共にブルペンに行きましたよ。」

魔理沙「確か、早苗はクローザーで諏訪子は早苗専属のキャッチャーだったな。」

鍵「守備を固めてきたか・・・」

富竹「逃げ切りを狙って、最終回に早苗を登板させるつもりだろう。」

圭「それでも、喰らい付く。そのつもりで行く。」

5番 ファースト 蔵人

天子「私はこの回でお役御免ね・・・」

蔵人「早苗がブルペンに行った・・・って事は先発はここで終わるか。」

天子「はあ！」

スパーン！

審判「ストライク！」 全人類の緋想天157キロ

小鳥「天子投手！終盤に差し掛かっても疲れていない！」  
なのは「凄いスタミナですね。」

天子「やつ！」

蔵人「其処だ！」

カキンツ！

ナズーリン「届かない！」

蔵人「よし！初ヒット！」

6番の純一が四球で出塁し、これでノーアウトランナー1塁2塁

神奈子「天子はここまでか。悪いがここで交代だ。」

天子「えっ！？まだ私は」

神奈子「野球は一人でするもんじゃない。ここはリリーフ陣に任せろ。」

天子「解ったわ・・・」

はたて「ん？神奈子監督代行がピッチャーを交代するようですね。」

魔理沙「確か、村紗とか雲居とかいたな。」

白蓮「それで誰を投げさせますか？」

神奈子「青娥、後続を任せた。」

青娥「いいですよ。」

アナウンス「ピッチャー天子に変わりました青娥。ピッチャー霍青娥。」

小鳥「ここで青娥ちゃんをマウンドに送り込みました！」

霍青娥 データ：140キロ後半のストリートと鋭く曲がるカーブ  
を武器にするサウスポー 球速B制球B体力C変化B 球種：スト  
リートMAX148キロ スライダー タオ胎動（カーブ） チェ  
ンジアップ テーマ：古きユアンシエン

入江「天子ほどではないが早い・・・」

7番 セカンド 入江

青娥「行くよ。」

入江「来い！」

魔球 道符「タオ胎動」



спан！

審判「ストライク！」 夕才胎動132キロ

入江「何だ！？このカーブ！？」

青娥「修行の成果よ。はあ！」

入江「またカーブ！？こうなったら！」

ガキン！

入江「くう……」

星「1アウトです。」

鋭いカーブに押されサードフライに終わった

8番のクマ吉にも……

青娥「それ！」

спан！

審判「ストライク！バッターアウト！」 夕才胎動130キロ

クマ吉「打てるわけないよ！あんなカーブ！」

青娥「2アウトね。」

アナウンス「バッター元校長に変わりました、誠。代打伊藤誠。」

はたて「おーっと！ここで圭一監督が動いた！代打の伊藤誠です！」

伊藤誠 データ：全ゲームの中で最も最低な主人公 誠死ね 打撃

B走塁 C守備 C

すると、観客から野次が飛んできた まあ、当然のことだけどね

観客A「何登場してんだ！」

観客B「帰れ！」

観客C「ピッチャー！押さえろー！」

観客D「誠死ねー！」

沖田（観客席）「死ねー！土方ア！」

土方（観客席）「何どさくさに紛れて言ってるんだ！沖田ア！」

妹紅（観客席）「死ね！クソニート！」

輝夜（観客席）「お前が死ね！妹紅！」

ハヤテ（観客席）「虎鉄さんが死ね！」

お解りだろう、誠は不人気キャラなのである

誠「扱い酷くね!？」

お前はそういう扱いなのだよ(黒笑)

誠「作者まで!？」

青娥「行くよ・・・たあ!」

スパン!

審判「ストライク!」ストレート145キロ

神子(・・・これまで、天子の速球を受け続けたからな・・・)

誠(ここまでストレートとカーブしか使っていないな・・・ひよっとして!)

神子(そろそろ、他の変化球を投げないのか?)

青娥(でも・・・他はあまり得意じゃないのよ)

神子(安心しろ。私が保証する)

青娥(解った。スライダーを投げる!)「たあ!」

誠(やつぱり!他の変化球は曲がない!)「そりゃ!」

カキーン!

青娥「何!？」

小鳥「誠選手!流して打った!そして!大きな罵声!」

観客A「何打ってんだー!」

蔵人「よし!ホームイン!」

純一「3塁を狙う!」

小傘「させないだわさ!」

純一「ぬおおおおおおお!!!!!」

パシッ!

星「てやあああああああ!!!!!!!」

ズザー!

審判「アウト!」

はたて「3塁を狙った純一選手はアウトになったものの、誠選手がまさかのタイムリーヒットを打ち、ランナーが帰った為、点数が入りました!」

誠「まさかは余計だろ!」

フロックス6 - 5ソウルブラザー魂兄弟

小鳥「ですが、3アウトになりチェンジになりました。フロックス！ラッキーセブンに入ります！」

現在のスコア

守	1	0	0	—	2	0	3	—	6
魂	0	0	4	—	0	0	1	—	5

ヒット数

フロックス10

ソウルブラザー魂兄弟8

先発投手の成績

守矢フロックス

比那名居天子

投球イニング5 0 / 3

被安打7

被本塁打1

奪三振7

四死球3

失点5

自責点5

防御率7 . 0 0

ソウルブラザー魂兄弟

前原圭一

投球イニング5 1 / 3

被安打10

被本塁打1

奪三振10

四死球 1

失点 6

自責点 6

防御率 7 . 8 8

次回、遂に決着！

「たわむれはおわりじゃ！」

魔理沙「今度は神子のセリフかよ！」



## Aリーグ第1試合7〜9回（前書き）

作者「今回でAリーグ第1試合決着！」

ゆっくり「ゆっくりしていつてね!!」

梓「そんなことより、早く私のチームの試合を書いてください。」

作者「……」

## Aリーグ第1試合7〜9回

試合は終盤 守矢フロッグスが6回、宮古のタイムリーと小傘の2ランホームランで逆転に成功

しかし、魂兄弟ソウルブラザーも誠がまさかのタイムリーで1点を返した

現在6対5で守矢フロッグスが1点をリード

果たして勝利の女神が微笑むのはどのチームか・・・

なのは「青娥選手、1点は取られはしたもののナイスピッチングです。」

阿求「私は、誠選手がタイムリー打ったのがシラタマが仕事をしたと同じぐらい衝撃的でコメントが出来ません。」

小鳥「・・・あつきゆんさん？」

誠「どいつもこいつも酷いな！ホント！」

アナウンス「先程、代打で出ました誠がそのままライトへ入ります。

9番ライト誠」

観客A「出すなー！監督ー！」

観客B「誠死ねー！」

小鳥「ホント、罵声の嵐ですね。誠選手。」

7回表 守矢フロッグスの攻撃

3番 キャッチャー 豊聡耳

神子（手が痛いな・・・恐らくこれが最後の打席）

東条「行きますよ。」

神子「来い！」

東条「たあ！」

神子「！」

カキン！

ムツツリーニ「・・・1アウト。」

神子「思ったほど力が出ないな・・・」

神奈子（幽香を登板させるつもりだが、神子の手は持たないだろう・  
・・7、8回は私が行くか）

4番の神奈子には・・・

東条「たあ！」

神奈子「それ！」

カキーン！

パシーン！

クマ吉「危ないよ・・・」

審判「アウト！」

神奈子「惜しいな・・・」

はたて「フロッグス、簡単に2アウトになりました。」

魔理沙「でも、次はお空だぜ。」

5番 指名打者 お空

お空「今度こそホームラン打つよ！」

東条「そうですねか・・・はあ！」（！）

鍵「なっ！失投!?!」

お空「もらったーーーーー!!!!!!!!!!!!!!」

カッキーン!!!!

小鳥「お空ちゃん打ったアアアアアアア!!!!!!!!!!」

誠「大きすぎる！」

審判「ホームラン！」

お空の打球がそのままライトスタンドまで伸びて行った

東条「失投しました・・・」

フロッグス7 - 5魂兄弟ソウルブラザー

なのは「空選手、見事なホームランでしたね。」

魔理沙「まあ、核の力を制御できずに球場を焼かないか心配だな。

」

家康（迷い猫）「富竹、何時でも登板できるように準備しよう。」

富竹「解った。」

鍵「ドンマイ、東条。」



圭一「まだ、7回。しまつて行くぞ！」

小鳥「さあ、続いて6番星選手です。」

阿求「予め言っておきます……メンチ乙！」

なのは「あの……あつきゅんさん？」

6番 サード 寅丸星

星「ここは本家の汚名を返上する！」

しかし……

スパン！

審判「ストライク！バッターアウト！」カーテンのシャッター110キロ

星「……」

神奈子「まあ、追加点は取れた。この回からは私がキャッチャーだ。

にとり、ファーストに着け。」

にとり「あつ、はい。解りました。」

神奈子「それと、幽香。スマンがこの回から登板を頼む。」

幽香「いいですよ。あの変態集団を抑えればいいのね。」

アナウンス「フロッグス守備の交代及びピッチャーの交代をお知ら

せします。ファーストの神奈子がキャッチャーへ豊聡耳に変わります

してにとり。ピッチャーの青娥に変わりました幽香。ピッチャー風

見幽香。3番ファーストにとり。4番キャッチャー神奈子。」

小鳥「神奈子選手！マスクを被りました！」

なのは「神奈子選手の本業はキャッチャーですからね。」

はたて「フロッグス、ここでピッチャーの交代です。ピッチャーは

幽香選手です。」

魔理沙「私以上の球速でツーシームを投げる恐ろしい投手だぜ。」

河城にとり データ：お値段以上の守備をする河童、チャンスメイ

クも上手い 打撃C走塁C守備A テーマ：芥川龍之介の河童

風見幽香 データ：魔理沙以上のツーシームを投げるサドステイツ

クピッチャー ただし魔理沙以上にノーコン 球速A制球D体力A

変化B 球種：ストレート ダブルスパーク（ツーシーム）MAX

162キロ Hスライダー ナックルカーブ テーマ：今昔幻想郷

1番 センター サンジ

サンジ「ここは打つ！」

幽香「フフフ・・・どうかしら・・・はあ！」

幽香の投げた球が・・・

ドカ！

サンジ「グポオオオオオ！！！！！」

何と、サンジのタマに当たった

審判「デットボール！」ダブルスパーク162キロ

神奈子「おいおい・・・」

小鳥「162キロのツーシームがサンジのタマに当たってしまいましたね・・・」

阿求「かと言って同情はしませんけどね。」

圭「臨時代走、瀬川虎鉄。」

アナウンサー「臨時代走のお知らせします。代走、虎鉄。」

瀬川虎鉄 データ：鉄道とハヤテ好きのガチ・・・。なのでハヤ

テから嫌われている 打撃A走塁B守備D

幽香「次はちゃんとするから。」

神奈子「まあ・・・いいけど・・・」

幽香の完全に故意のデットボールでノーアウトランナー1塁

2番 ショート ムツリーニ

幽香「行くわよ・・・はあ！」

ムツリーニ「！」

ガキン！

小鳥「あつと！ナックルカーブを引っかけてしまった！」

椀「ショート！」

虎鉄「何！？」

ナズーリン「ファースト！」

ムツリーニ「！」

にとり「取ったよ！」

はたて「幽香選手！ムツリーニをゲッツーで仕留めました！」

ムツツリーニ「……………」

3番の杉崎には……………」

幽香「はあ！」

スパーン！！！！

鍵「ぬお！」

第1球、幽香は杉崎に対して内角スレスレのツーシームを投げた

幽香「チツ。外れたか。」

鍵「完全に当てる気だったよね！！」

圭「選手を怪我させる気満々だ……………」

幽香「次行くわよ、はあ！」

スパーン！

審判「ストライク！」ダブルスパーク161キロ

鍵「早いつて！」

そして、杉崎を追い込み

スパーン！

審判「ストライク！バッターアウト！」ダブルスパーク162キロ

鍵「あんなのアリか……………」

阿求「アリです。ここは現実じゃないから。」

小鳥「魂兄弟ランナーは出しましたが2度目の併殺により3者凡退

で終わりました。」

魔理沙「フロッグスは後、雲居や早苗がいる。魂兄弟<sup>ソウルブラザー</sup>にとっては結

構きつくなくなるぜ。」

8回表 守矢フロッグスの攻撃

サンジ「ふう……死ぬかと思っただぜ。」

はたて「おっと、先程あれにデットボールを喰らったサンジ選手が  
プレイ続行するようです。」

幽香「何だ……生きてたのね。」

7番レフト ぬえ

ぬえ「もうアンタ等には逆転のチャンスは無い。だが、お前はここ

で終わりだがな！」

東条「我々の結束力をなめては困る！はあ！」

ぬえ「貰い！」

カキン！

入江「そうはさせん！」

パシイ！

ぬえ「ぬえんだって〜！！！」

村紗（だから無理があるって・・・それ・・・）

小鳥「諦めない魂兄弟ソウルブラザー！入江選手がファインプレー！」

8番 セカンド 椋

椋「初めての打席ですね！」

8回途中から代走に入った椋　これが最初の打席である

東条「打たせませんよ・・・はあ！」

椋「！」

バシン！

審判「ボール！」ストレート132キロ

東条「あれを振らないとは・・・」

椋「選球眼はいいですからね。」

そしてフルカウントになつて

鍵（東条、椋の選球眼の良さを逆手に取るんだ）

東条（解りました）「はあ！」

椋「外れる！」

バシン！

審判「ストライク！バッターアウト！」ストレート133キロ

椋「え！？」

魔理沙「椋の選球眼の良さが裏目に出たな。」

なのは「杉崎選手のリードも冴えていますよ。」

9番 ライト 小傘

小傘「今度も打つたわさ！」

前の打席代打2ランホームランを打った小傘、この打席はどうなる

のか

東条「はあ！」

小傘「来た！」

ガキンツ

小傘「あ・・・」

東条「アウトです。」

はたて「東条選手！この回は3人で仕留めました！」

阿求「流れはこっちに来てます。もしかしたら逆転もあるかもしれ  
ません。」

圭一「ここから逆転するぞ！」

神奈子「一輪、この回はお前だ。強打者が多いがしつかり押さえて  
くれ。」

雲居「解りました。」

小鳥「ん？フロッグス、ここで投手を変えるようですね。」

アナウンス「フロッグス、ピッチャーの交代をお知らせします。ピ  
ッチャーの幽香に変わりました、雲居。ピッチャー雲居一輪。」

雲居一輪 データ：本来はクローザーだが、フロッグスの方針で今  
回はセットアッパー 決め球のストレートは早くないが・・・球  
速C制球B体力C変化C 球種：ゲンコツストレート（ストレート）  
MAX142キロ カットボール スライダー フォーク テーマ：  
時代親父とハイカラ少女

雲居「こんぐらいかな。」

圭一（直球は早くないし、変化球もさほどではない・・・いける！）

4番 レフト 近藤

近藤「かかってこい！」

雲居「行くよ。」

魔球「ゲンコツストレート」

雲居「たあっ！」

近藤「甘い！」

カキン！！

近藤「！」

小鳥「あーっと！いい当たりしたかに見えた打球がショートに！」  
ナズーリン「1アウトです。」

近藤「何なんだ！？早くはないはずなのに！」

なのは「今のはいい当たりに見えましたが・・・」

魔理沙「雲居は直球が決め球の割にはそんなに早くはない。しかし、球威がとんでもなく鬼や吸血鬼のパワーでも内野フライに抑えらるるほどだ。」

阿求「ドラベースのドランプのロイヤルストレートフラッシュみたいなもんです。」

はたて「あの・・・読者の方には知ってますか？それ？」

小鳥「仕方ありませんよ・・・作者、高校受験前までコロコロを買ってましたから・・・しかも毎月。（実話）」

5番の大石にも・・・

雲居「たあ！」

蔵人「！」

バキ！

蔵人「バットが折れた！！！」

にとり「2アウトです！」

更に、6番の純一に2ストライクと追い込み  
ガツン

純一「ああ！」

星「3アウト、チェンジです。」

小鳥「魂兄弟！結局3者凡退で終わっています！」  
ソウルブラザー

なのは「フロッグスは1番からの好打順です。」

魔理沙「トドメさしたいところだぜ。」

圭一「トミー、無失点に抑えてくれ！」

富竹「解った！」

アナウンサーソウルブラザー「魂兄弟選手の交代をお知らせします。ピッチャーの東条に変わりました、富竹。ピッチャー富竹ジロウ。」

小鳥「ここで、魂兄弟<sup>ソウルブラザー</sup>。守護神の富竹がマウンドに！」

富竹ジロウ データ：魂兄弟<sup>ソウルブラザー</sup>、最後の砦 多彩な変化球で最後を締める 球速B制球A体力B変化S 球種：ストリートMAX145  
キロ シュート 富竹フラッシュ（フォーク） スローカーブ  
ロップカーブ Hシンガー

早苗「もうすぐですね。諏訪子様。」

諏訪子「そうだねえ。あと5球投げたらベンチに戻ろっか。」

9回表 守矢フロッグスの攻撃

1番 センター 射命丸

射命丸「打つ気で来ましたがここは・・・」

ここまで4打数無安打2三振と打撃では全く活躍していない射命丸

富竹「はあ！」

射命丸「ここは！」

コッソッソ！

鍵「！」

小鳥「射命丸選手！セーフティーバントを仕掛けてきました！」

クマ吉「もう1塁に!？」

クマ吉がボールを取ったところで1塁を踏んでいた

射命丸「初ヒットです！」

阿求「打てないから姑息な手を使ってきましたね。」

鍵「次は抑えよう。」

2番 ショート ナズーリン

富竹「行くぞ！」

射命丸「今です！」

魔球「富竹フラッシュ」

ナズーリン「うわっ！」

バシン！

審判「ストライク！」 富竹フラッシュ134キロ

鍵「たあ！」

ズザー！

審判「セーフ！」

小鳥「射命丸選手！盗塁成功！」

射命丸「どんどん走りますよ！」

富竹「失点はやらん！」

その後ナズーリンを追い込み

バシン！

審判「ストライク！バッターアウト！」Hシンガー130キロ

ナズーリン「うーん。」

その後3番のとりを三振を奪い4番神奈子にも

富竹「はあ！」

神奈子「そら！」

ブン！

審判「ストライク！バッターアウト！」富竹フラッシュ129キロ

富竹は1回を無失点3奪三振と素晴らしいピッチング

#### 9回裏 ソウルブラザー魂兄弟の攻撃

早苗「神奈子様。お疲れ様です。」

神奈子「ああ、2点差だが気を抜くなよ。」

早苗「はい！」

諏訪子「準備OKだよ！」

早苗「解りました！諏訪子様！」

アナウンス「守矢フロックス、守備の変更及びピッチャーの交代をお知らせします。キャッチャーの神奈子に変わりました、諏訪子。

ピッチャーの雲居に変わりました、早苗。ピッチャー東風谷早苗。

4番キャッチャー諏訪子。」

小鳥「ここで！抑えの早苗監督が登板しました！」

なのは「神奈子選手もリードが上手いのに諏訪子選手に変える意味はあるのでしょうか？」

魔理沙「意味あるぜ。諏訪子は普通は振り回すだけの外野手だが早苗と組むと最強の捕手になるぜ。」



阿求「早苗の愛が成せた業ですからね。」  
東風谷早苗 データ：フロックスの監督にして奇跡を呼ぶ守護神。  
ウイニングショットは「海が割れる」縦スライダー 球速C制球B  
体力D変化B 球種：ストリートMAX142キロ Hスライダー  
サークルチェンジ 八坂の神風 テーマ：信仰は儂き人間の為に  
洩矢諏訪子 データ：早苗専属の捕手 野球は覚えて力で力はない  
が早苗と組むと驚異の守備能力を発揮する 打撃C走塁D守備D（  
投手が早苗で捕手の時は守備S） テーマ：ネイティブフェイス  
7番 セカンド 入江  
入江（9回裏、2点差・・・崖っぷちに追い込まれたな・・・）  
早苗「行きますよ・・・やあ！」  
入江「！」  
バシン！  
審判「ストライク！」Hスライダー131キロ  
圭一「中々キレのあるスライダーだ・・・」  
諏訪子（早苗、あのスライダー行くよ）  
早苗（解りました）「次は・・・これですよ！」  
魔球 大奇跡「八坂の神風」  
入江「なっ！縦スライダー!?!」  
カコンッ  
にとり「1アウトです。」  
入江が倒れ、1アウト  
アナウンス「バッタークマ吉に変わりました、家康。」  
圭一「こうなったら代打攻勢だ。」  
菊池家康 データ：二次元大好きの嫌われ者 コメント無し 打撃  
B走塁B守備C  
諏訪子（まずは・・・これだね） 外角低めのサークルチェンジ  
早苗（解りました・・・）「やあ！」  
家康「其処だ！」  
カキーン！

早苗「！」

バシン!

審判「アウト！」

家康の鋭い打球を早苗の好捕でキャッチした

早苗「吃驚しました・・・」

諏訪子「あと一人だよ！」

アナウンサー「バッター誠に変わりました、虎鉄。」

はたて「後がない魂兄弟、ここで先程臨時時代走で出た虎鉄選手です

！」

虎鉄「打つ！絶対に打つ！」

諏訪子「・・・・・・」 内角の高速スライダー

早苗が頷く

早苗「やあ！」

虎鉄「たあ！」

パシンッ!

審判「ストライク！」 Hスライダー 127キロ

虎鉄「次の球に懸ける！」

諏訪子「・・・・・・」 内角の縦スライダー

早苗がまた頷く

早苗「やあ！」

虎鉄「たあ！」

カキン!

打球はシヨートへ・・・

ナズーリン「やあ！」

虎鉄「うおおおおおおお!!!」

ズサー!!!!

審判「アウト！ゲームセット！」

小鳥「試合終了！開幕戦を制したのは守矢フロッグス！7対5で魂

兄弟に競り勝ちました！」

選手一同「ありがとうございます！」

雛「小傘のホームランが一番驚きました。」

神奈子「スマンな、雛。次の試合はスタメンで行くから。」

雛「気にしてませんよ。」

早苗「流石に最後は緊張しました・・・」

天子「さあ！マリオファミリーにもわかばガールズにも勝っていくわよ！」

鍵「大事な初戦を落とした・・・」

誠「チクシヨー！次は罵声を歓声にしてやる！」

東条「お空のホームランが痛かった・・・」

圭「まあ、負けてもチャンスはある。」

ソウルブラザー  
魂兄弟達「????」

圭「もし、最下位でも下位トーナメントに進むだけでここで勝ち進めは優勝も狙える。」

富竹「そうだったな。」

圭「じゃあ、今回は解散！試合の三日前には集合して練習だ。」

こうして、第1試合は終わった・・・

次回、成績とハイライトをお送りします。

「らんらんるー！」

魔理沙「ドナルドかよー！」

## Aリーグ第1試合7〜9回（後書き）

質問コーナー

作者「作者です。」

梓「わかばガールズのチームリーダーの梓です。」

ゆつくり「ゆつくりです。」

作者「今回は何か突っ込まれそうなところを解決します。」

梓「私からです。チャンネルマッて考えてますか？」

作者「考えてる。っわけで公開します。」

マリオファミリー　マリオの無敵状態のテーマ

放課後ティータイム　C a g a y a k e ! G I R L S

幻想郷タイトルズ　幽霊楽団

守矢フロッグス　神々が恋した幻想郷

765エンジェルズ　C o l o r f u l　D a y s

ニコニコオールスター　最終鬼畜妹フレンドール（東方キャラいな  
いけど）

山純ガチレスホモリアン　やらないか（パラライカ）

スマブラオールスター　スマブラXのメインテーマ

コロコロオールスター　コロコロコミックのCMで流れる曲（名前  
忘れた）



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5858y/>

---

アニメ・ゲームのキャラで野球大会

2011年11月25日23時55分発行